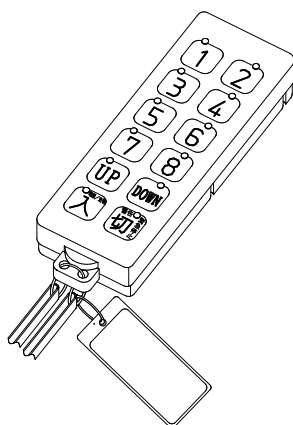


HLA-DC 型用 無線仕様 集中コントローラー HLA-MC 型

取扱説明書

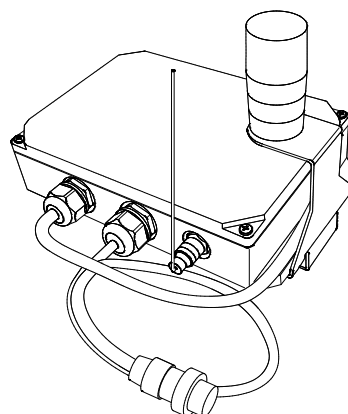


送信機シリアルNo.

--

製番
CH

--



受信機シリアルNo.

--

製番
CH

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

--

ピカ コーポレイション

もくじ

表示マークについて・・・・・・・・・・・・・・・・	1
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・	2
各部名称・ラベル貼付位置・・・・・・・・	3
安全のために、必ず守っていただきたいこと・・・・	5
製品仕様・・・・・・・・・・・・・・・・	7
製品の使いかた・・・・・・・・・・・・・・・・	8
1. 受信機の接続と始業前準備	
2. 操作のしかた（始業前点検）	
3. 荷物の昇降操作	
4. 安全機能について	
保管のしかた・・・・・・・・・・・・・・・・	11
送信機の充電のしかた・・・・・・・・・・・・	12

表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている△マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

△危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

△警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険のあることを示します。

△注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。
※破損したままで使用しますと、転倒や荷物の落下による傷害事故の原因になります。



禁止

このマークは、禁止（してはいいないこと）を示します。



強制

このマークは、強制（必ずすること）を示します。

＜絵表示について＞

警告表示の要点が一目で理解できるように、取扱説明書の中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると、感電して危険であることを注意しています。

はじめに

このたびは本製品を、お買い上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品の使いかたと使用上の注意事項について記載しています。

ご使用前には必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、事故が起これないように、内容にしがって正しくお使いください。また、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる所へ大切に保存してください。

取扱説明書の内容と合わせて、作業現場内での規則を守り安全に作業してください。



- 本製品は、可搬式荷物用昇降台 HLA-DC 型（別売）を無線装置で複数台同時操作するための装置です。
可搬式荷物用昇降台（以下、「リフト」という）の使用条件や取り扱いに関しては、リフトの取扱説明書をよく読み、事故が起これないように取扱説明書の内容にしがって正しくお使いください。
- 本製品を使用して、複数台のリフトで1つの荷物を昇降させる場合は、荷物の高さ及びフォークへの設置状態など、荷物の状態を正確に把握出来る指示者と一緒に確認を行いながら、安全に操作してください。
- 本製品使用の際、不意な動作停止が多発するような場合は無線装置の安全機能が作動している恐れがあるため、その原因を取り除いてから安全に使用ください。（安全機能については 10 ページ 4 を参照ください。）
- 本製品の無線装置となる特定小電力局の送信機を分解、改造する事は法律により禁止されています。
送信機内部の修理、点検等は弊社にご相談ください。
- この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

運転に必要な資格

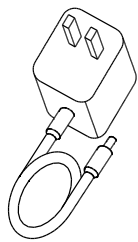
本製品の運転は下記を修了された方に限ります。

- 巻上げ機運転の特別教育

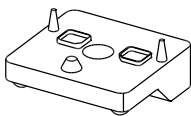
※本製品の無線装置に関して

電波法第四条第三号（無線局の開設）、施行規則第六条（免許を要しない無線局）及び設備規則第四十九条の十四（特定小電力無線局の無線設備）に規定する技術基準適合証明に合格したものですので、無線装置に関する手続きや届け出、又は電波法上の無線設備免許や操作資格は必要ありません。

付属品



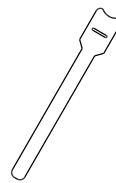
充電アダプター



充電台



L 型変換プラグ



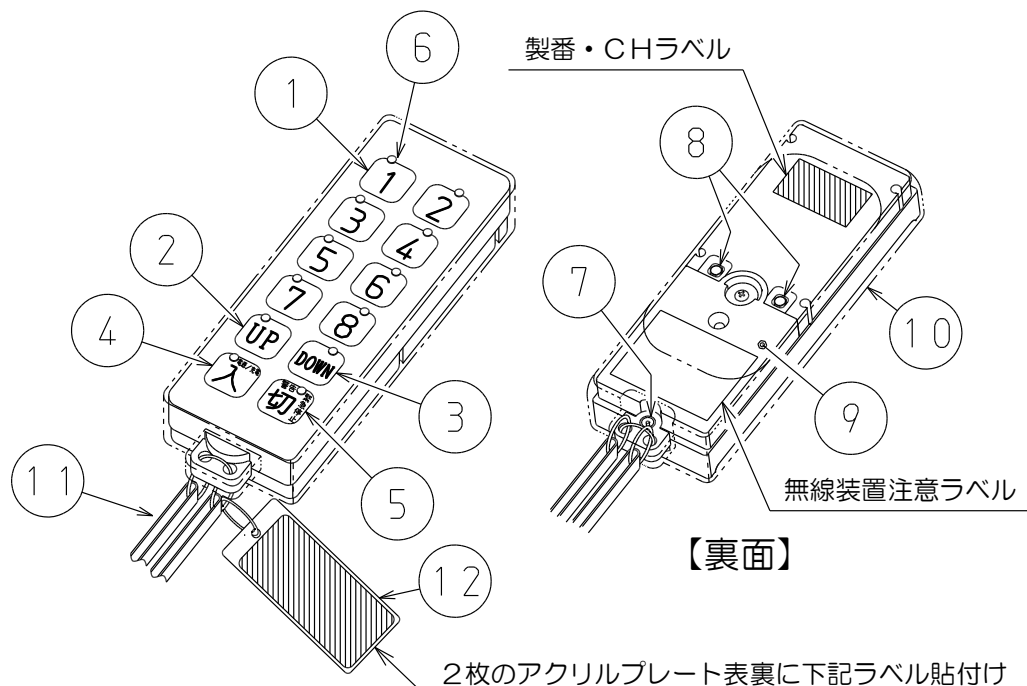
マジックバンド
ストラップ
（交換用部品）

各部名称・ラベル貼付位置

《送信機》

番号	名 称	備考	番号	名 称	備考
1	番号ボタン	1~8(型式による)	7	充電ジャック	-
2	UP ボタン	-	8	充電端子	-
3	DOWN ボタン	-	9	電池フタ	-
4	入ボタン	-	10	シリコンカバー	-
5	切ボタン(緊急停止)	-	11	デュアルストラップ	-
6	表示ランプ	-	12	アクリルプレート	-

※No.9 電池フタ内部に本製品専用の電池パックを内蔵。



2枚のアクリルプレート表裏に下記ラベル貼付け

- ・本体表示ラベル (ラベルNo.75370)
- ・シリアルNo.ラベル
- ・運転に必要な資格ラベル (ラベルNo.76264)
- ・操作説明ラベル (ラベルNo.76265)

＜技術基準適合に関して＞

本製品の技適認証ラベルは、送信機内部部品の高周波モジュールに貼付けされています。
(認証番号：001-X00471)

＜ラベルの手入れ＞

ラベルは表示内容が確認できるよう、傷つけないでください。

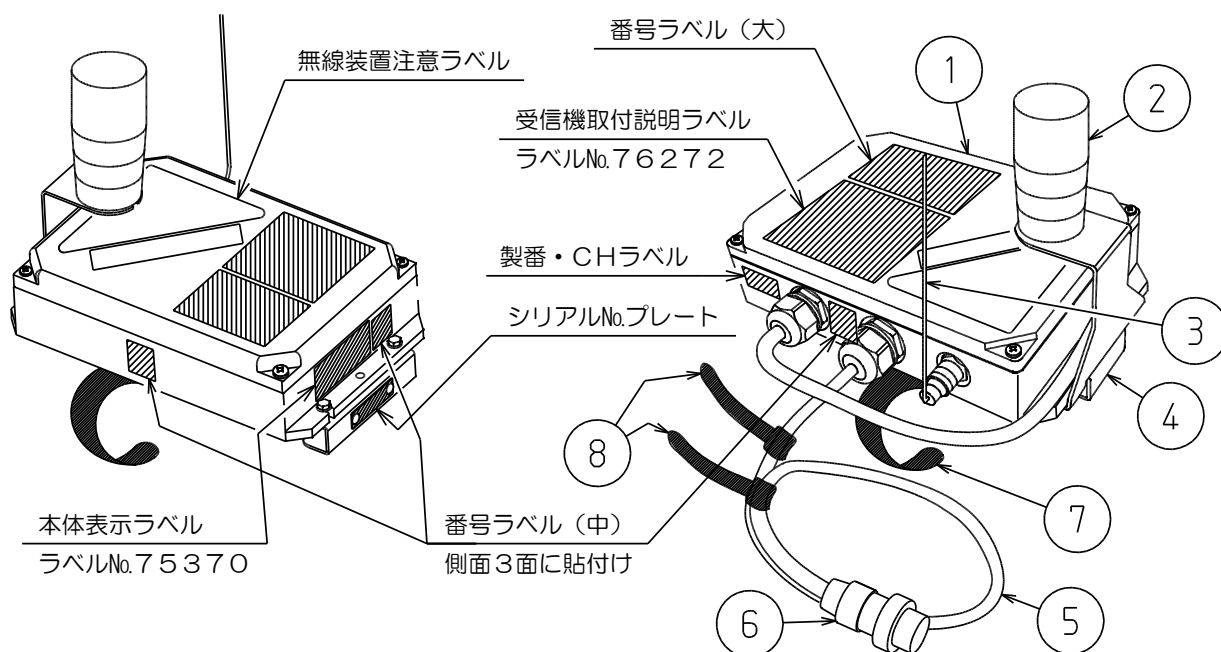
ラベルが汚れている場合は、水などで汚れを落とした後やわらかい布で拭いてください。

1. ラベルを取寄せるときは、ラベルNo.をご連絡ください。
2. ラベルNo.はラベルに記載されています。

《受信機》

番号	名 称	備考
1	受信機	-
2	回転灯	-
3	アンテナ	-
4	受信機取付金具	-

番号	名 称	備考
5	接続ケーブル	-
6	ケーブル接続部	-
7	片面マジックストラップ	1ヶ
8	マジックバンドストラップ	2ヶ



本製品には、送信機・受信機それぞれに次の2つの管理No.があります。

管理No.の製品表示位置は挿絵を参照してください。

本取扱説明書の表紙にも、同番号記載のラベルが貼付けされています。

管理No.	シリアルNo.	製番・CHラベル
詳細	シリアルNo. 製品型式 (または番号記載) 《シリアルNo.プレート見本》	製造番号 → 151000-0-gT チャンネルコード → 4HF1F101032Z 71390 通信制御装置 製番 CH 朝日音響株式会社 《製番・CHラベル見本》
備考	シリアルNo.は、製品の識別番号です。 本製品に関するお問合せの際は、<u>このシリアルNo.をお伝えください。</u>	製番・CHラベルの番号は、無線機の周波数管理の番号です。 CH(チャンネルコード)が周波数情報を示し、この番号が同じ送信機・受信機でのみ操作可能であることを示します。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠危険



強制

本製品は、可搬式荷物用昇降台 HLA-DC 型（別売）を複数台同時操作するための装置です。

リフトの使用条件や取り扱いに関してはリフトの取扱説明書をよく読み、事故が起こらないよう取扱説明書の内容にしたがって正しくお使いください。

⚠警告



禁止

リフトを同時に操作する用途以外の使いかたをしないでください。

本製品は、荷物を昇降させるリフトを無線操作で同時に操作する為のものです。使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをすると、重大な事故の恐れがあります。

⚠警告



禁止

本製品を分解や改造しないでください。

分解や改造は本来の機能をそこね、事故や故障の原因となります。弊社にご相談なく分解、改造されたことに起因する事故や故障については責任を負いかねます。また、送信機を分解、改造することは法律で禁止されています。

⚠警告



禁止

取扱説明書・ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。

本製品の取扱説明書やラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれています。注意事項をよく読み、理解してお使いください。

⚠注意



禁止

貼りつけてあるラベルが無くなったり、読めなくなった製品は使わないでください。

必ず、弊社から新しいラベルを取り寄せて、正しい位置に貼り、内容を理解してから使ってください。

※ラベルを取り寄せるときは、ラベルナンバー（3・4ページを参照）をご連絡ください。

⚠警告



強制

複数のリフトを併置し、1つの荷物を昇降させる場合は、本製品を使用してください。

⚠危険



強制

複数のリフトで1つの荷物を昇降させる場合、荷物の高さ及びフォークへの設置状態など、荷物の状態を正確に把握出来る指示者と一緒に確認を行いながら、安全に操作してください。

転倒や荷物の落下など、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠危険



強制

受信機の接続ケーブルや送信機のデュアルストラップなどがウインチドラムやワイヤーロープに巻き込まれないようにしてください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



強制

使用時は、周囲及び頭上の安全を確保してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



強制

使用時は、作業員以外はリフトに近づかないでください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



禁止

リフトのウインチ定格を超える使用はしないでください。

モーター焼損や制御器損傷の原因になります。

⚠警告



禁止

リフトを充電しているときは、本製品を操作しないでください。

リフトの充電器破損の原因になります。

安全のために、必ず守っていただきたいこと

2. ご使用になる前に

⚠警告



強制

使う前には、リフトの取扱説明書に書いてある「ご使用前の点検（始業前点検）」と本取扱説明書の9ページに書いてある「操作のしかた（始業前点検）」を行い、リフトと無線装置に異常の無いことを確認してください。

異常のあるときは、絶対に使わないでください。重大な事故につながる恐れがあります

3. 設置する場所について

⚠危険



強制

リフトを設置するときや移動するときは、配電線・送電線に注意してください。

本製品及びリフトは電気を通しますので、配電線・送電線に触れると感電し、重大な事故につながる恐れがあります。配電線・送電線からの推奨離隔距離は、下表を参照ください。



⚠危険



禁止

やわらかい地面、傾斜している場所、安定しない場所や滑りやすい場所にリフトを設置して使用しないでください。

不安定な場所で使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



禁止

悪天候時（雨、雪、強風時等）は、使用しないでください。

リフトが風にあおられたりして、重大な事故につながる恐れがあります。また、本製品及びリフトは電気部品を使用しているので、雨に濡れたまま使用すると漏電や感電の恐れがあります。

⚠危険



強制

作業者は必ず、全てのリフトが見える位置で操作して使用してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠危険



強制

リフトは、必ず水平な地面上に設置して使用してください。

重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告



禁止

足元や周囲・頭上がはっきり見えない暗がりでは使用しないでください。

暗い場所では照明を設けるなど、周囲を十分に明るくし作業に必要な照度を確保してください。また、作業区域内には作業者以外が近づかないようにしてください。

⚠警告



禁止

-10℃以下の低温、40℃以上の高温、90%以上の高湿の場所では使用しないでください。

リフトが正常に作動しない恐れがあり、事故や故障の原因になります

⚠警告



禁止

酸や塩分の多い場所では使用しないでください。

本製品及びリフトの腐食が激しくなり、事故や故障の原因になります

⚠警告



禁止

有機溶剤や爆発性粉じんなどのある場所で使用しないでください。

引火爆発などの原因になります。

⚠危険



強制

使用時は受信機のアンテナを立て、電波が遮蔽されないようにしてください。また、ノイズ（必要な信号や電力に混入して妨害を与える不要な電氣的成分）の影響を受ける恐れがある場合は、本製品を出来るだけノイズの発生源から離してください。

通信障害による動作不良の原因となり、重大な事故につながる恐れがあります。

配電線・送電線からのリフトの推奨離隔距離

電路	送電電圧 (V)	労働基準局長通達（※） 最小離隔距離 (m)
配電線	100～200	1.0 以上
	6600	1.2 以上
送電線	20000～30000	2.0 以上
	77000	2.4 以上
	154000	4.0 以上
	275000	6.4 以上
	500000	10.8 以上

※労働基準局長通達 昭和50年12月17日 基発第759号

製品仕様

製品型式	受信機数量	送信機数量
HLA-MC1	1 台	1 台
HLA-MC2	2 台	
HLA-MC3	3 台	
HLA-MC4	4 台	
HLA-MC5	5 台	
HLA-MC6	6 台	
HLA-MC7	7 台	
HLA-MC8	8 台	

※送信機 1 台で本製品の受信機が複数台同時操作可能。

《送信機》

寸法	207mm×73mm×36mm（シリコンカバー含む）
質量	300g（電池含む）
電源	4.8V800mAh 充電式電池パック
電池連続使用时间	電源入時間合計 15 時間
充電時間	最大約 10 時間
電池残量警告	入ホタ「電源/充電」横の表示ランプが赤色に点灯後、しばらくして作動停止
充電表示	入ホタ「電源/充電」横の表示ランプが赤色に点灯
適用規格	電波法に規定される特定小電力局無線設備 (ARIB STD-T67 準拠)
送信出力	429MHz 帯、出力は 1mW
キャリアセンス機能	切ホタ「警告」横の表示ランプが 1 秒おきに 2 回赤色に点滅
コートラインターロック表示	切ホタ「警告」横の表示ランプが赤色に点滅（ホタ解除で消灯）

《受信機》

寸法	300mm×244mm×220mm（回転灯・取付金具含む）
質量	2.8kg（回転灯・取付金具含む）
電源	可搬式荷物用昇降台 HLA-DC 型(別売)のバッテリーから取り込み
回転灯	送信機の番号ホタ選択で点灯

《共通仕様》

電波到達範囲	無障害状態で 100m
使用周波数	特定小電力無線設備で使用認められる 429.2500～429.7375MHz 帯の 1 波を使用
電波型式	F1D
データ伝送速度	2400bps

※リフトの製品仕様は、リフトの取扱説明書を御確認ください。

※仕様は予告なく変更する場合があります。

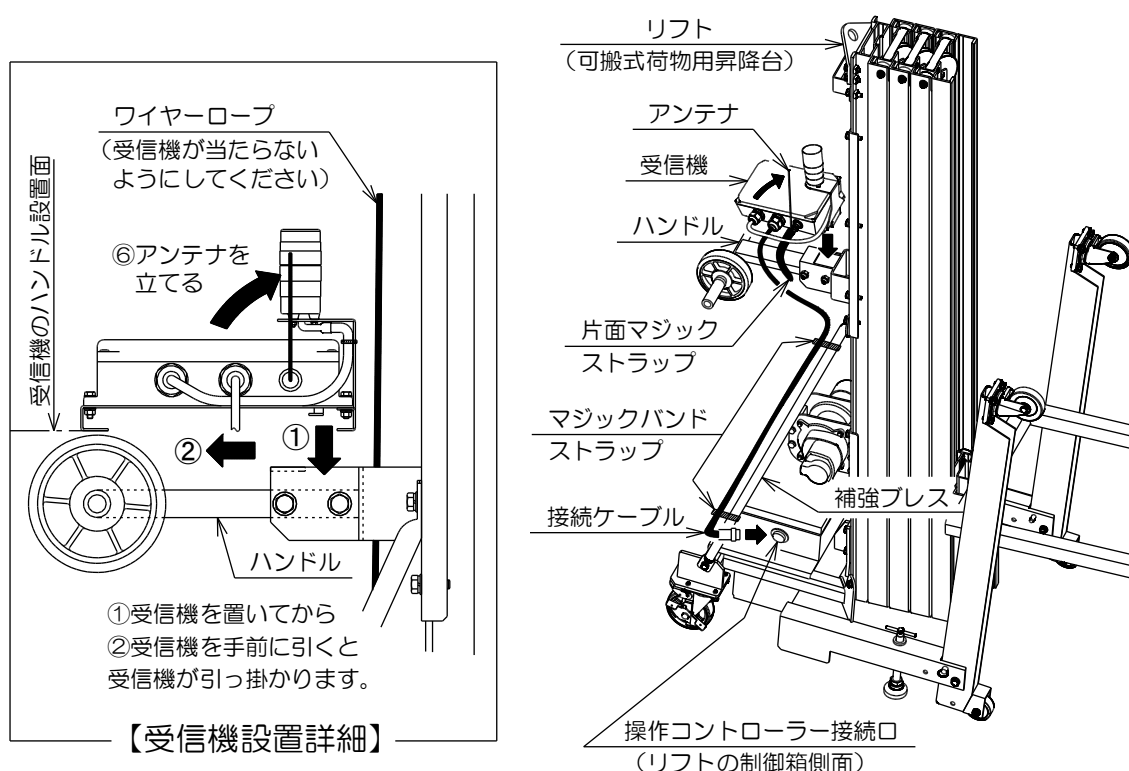
製品の使いかた

1. 受信機の接続と始業前準備

- ① 受信機下の片面マジックストラップを広げて、
リフトのハンドル上に受信機を乗せてください。
- ② 受信機を置いて手前に引くと受信機が引っ掛かり、上側に外れにくくなります。
※受信機は必ず下図のように、回転灯下の下部金具の引っ掛かり部分を
リフトのハンドル付け根の穴に入れて設置してください。
- ③ 受信機下の片面マジックストラップをリフトのハンドルに巻き、
受信機を固定してください。
- ④ 受信機の接続ケーブルをリフトの制御箱側面にある操作コントローラー接続口に
接続（差し込んでしっかりとロック）してください。
※リフトの操作コントローラーが接続されている場合は、外して付け替えしてください。
- ⑤ 接続ケーブル2ヶ所をマジックバンドストラップでリフトの補強プレスに巻いて
固定してください。
- ⑥ 受信機のアンテナを立て、通信状態が良くなるようにしてください。
- ⑦ 受信機を接続したリフトの電源を ON にすると、受信機に電源が入ります。

⚠警告

- ・水が溜まっている所に受信機を置いたり、ケーブルを水に濡らさないでください。
- ・ケーブルを無理に引張ったり、無理に折り曲げたりしないでください。
- ・接続ケーブルを抜き差しする際、接続部本体を回転させないでください。
- ・受信機取付時、リフトのワイヤーロープに受信機が当たっていない事を確認してください。



製品の使いかた

2. 操作のしかた（始業前点検）

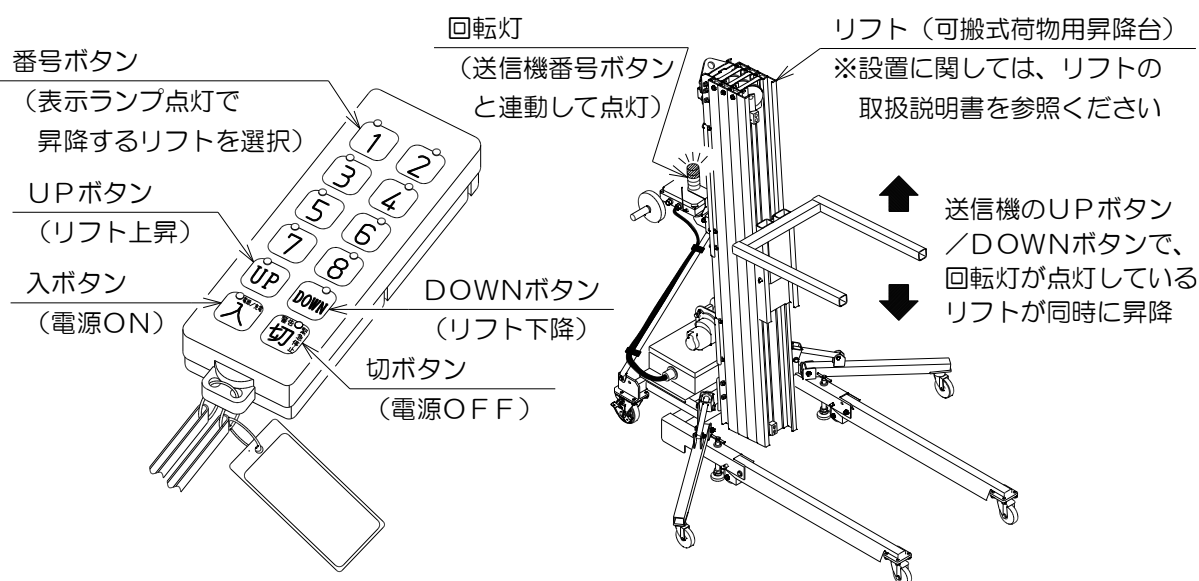
- ① 送信機の「入ボタン」を少し長押しすると送信機に電源が入り、表示ランプが緑色に点滅します。
- ② 「番号ボタン」を押すと、その番号の表示ランプが赤色に点灯します。
同じ番号の受信機回転灯が点灯するので、動作させたいリフトを選択してください。
- ③ 「UPボタン」を押すと、表示ランプが点灯している「番号ボタン」のリフト（回転灯が点灯しているリフト）が上昇します。
- ④ 「DOWNボタン」を押すと、表示ランプが点灯している「番号ボタン」のリフト（回転灯が点灯しているリフト）が下降します。
- ⑤ 「切ボタン」を押すと電源が切れ、全てのリフトが動作停止します。

※作業開始前に必ず、上記操作で無線装置に異常がないかを確認してください。

※受信機の回転灯が点灯していないリフトは、
「UPボタン」「DOWNボタン」を押しても動きません。

⚠警告

- ・使う前にはリフトの取扱説明書に書いてある「ご使用前の点検（始業前点検）」を行い、リフトに異常の無いことを確認してください。
- ・電池パックと充電装置は、本製品送信機専用のものです。
他の電池パックを使用したり他の充電器で充電したりすることは、機器破損の恐れがあるため絶対にしないでください。
- ・送信機を分解、改造することは、法律により禁止されています。



3. 荷物の昇降操作

- ① リフトの取扱説明書に書いてある[リフトの設置]と[荷物の設置手順]の通り、リフトの昇降前準備と荷物の設置を行ってください。
- ② 前頁の「操作のしかた」を参照し、安全に荷物の昇降操作を行ってください。

※各リフトは、最上部または最下部に達したとき自動で動作が停止します。

※リフトのウインチに過剰な負荷が掛かった場合や過剰な電流が流れた場合、リフトの制御箱内に設置されているブレーカー作動により、動作が停止します。この場合、過度の負荷を取り除き、リフトの制御箱横2ヶ所のノブ付ボルトを取り外して制御箱を手前に引き出し、中のブレーカーをONにすると元の状態へ戻ります。（詳細はリフトの取扱説明書を参照ください）

⚠警告

- ・リフトの使用条件や取り扱いに関しては、リフトの取扱説明書をよく読み、事故が起こらないよう取扱説明書の内容にしたがって正しくお使いください。
- ・本製品を使用して複数のリフトで1つの荷物を昇降させる場合、荷物の高さ及びフォークへの設置状態など、荷物の状態を正確に把握出来る指示者と一緒に、確認を行いながら安全に操作してください。

4. 安全機能について

本製品には次の安全機能が搭載されています。

・キャリアセンス

他の無線機との混信を回避する機能です。

送信機の電源入ボタンを押した時、同じ現場(約 150m の範囲)で使用している他の無線機と同じ周波数を送信しない機能です。

この機能が作動した送信機は、操作無効となります。

キャリアセンス機能作動時は、送信機の切ボタン「警告」横の表示ランプが1秒おきに2回赤色で点滅します。

・ニュートラルインターロック機能

A.操作ボタンを押したまま電源 ON した時

B.スイッチの故障などで操作をしているのと同様の状態で電源 ON とした時

上記A.B.どちらかの条件で送信機の電源を ON した場合、急に動作しないよう、「切ボタン」の表示ランプが赤色に点滅して操作無効となります。

この場合、操作スイッチから手を離せば操作可能に戻ります。

(B の場合は使用しないで修理の依頼をお願いします。)

・オートオフ機能

10 分間以上送信機が無操作状態が続くと、送信機の電源が自動で OFF となります。

・正逆インターロック” 機能

送信機の「UP ボタン」と「DOWN ボタン」の同時押しは、操作無効となります。

保管のしかた

- 使用後は受信機の接続ケーブルをリフトから外し、
受信機・送信機とも損傷の恐れが無い場所で保管してください。
※本製品は周波数の設定により、送信機で操作出来る受信機が決まっています。
他の無線装置と混在しないよう注意して保管してください。
- 雨や直射日光が当たらない場所に保管してください。
- 高温、多湿でない場所に保管してください。
- 暖房器具の輻射熱や暖気が直接当たらない場所に保管してください。
- ほこりの少ない場所で保管してください。
- 結露の可能性が少ない場所で保管してください。
- 使用した送信機は、作業終了ごとに充電してください。
- 使用したリフトのバッテリーは、作業終了ごとに充電してください。
放電状態での保管はバッテリーの寿命が短くなる原因となります。
※長期間使用しないときでも、定期的に充電（最低 1 ヶ月に 1 回充電）してください。
バッテリーを放電しすぎると性能や寿命が低下したり端子がさびたりする原因になります。

⚠注意

- ・リフトのバッテリー充電中は、本製品を接続して昇降操作しないでください。
充電器破損の原因となります。

送信機の充電のしかた

送信機は、充電端子 又は 充電ジャックから充電可能な充電2カ所方式を採用しています。

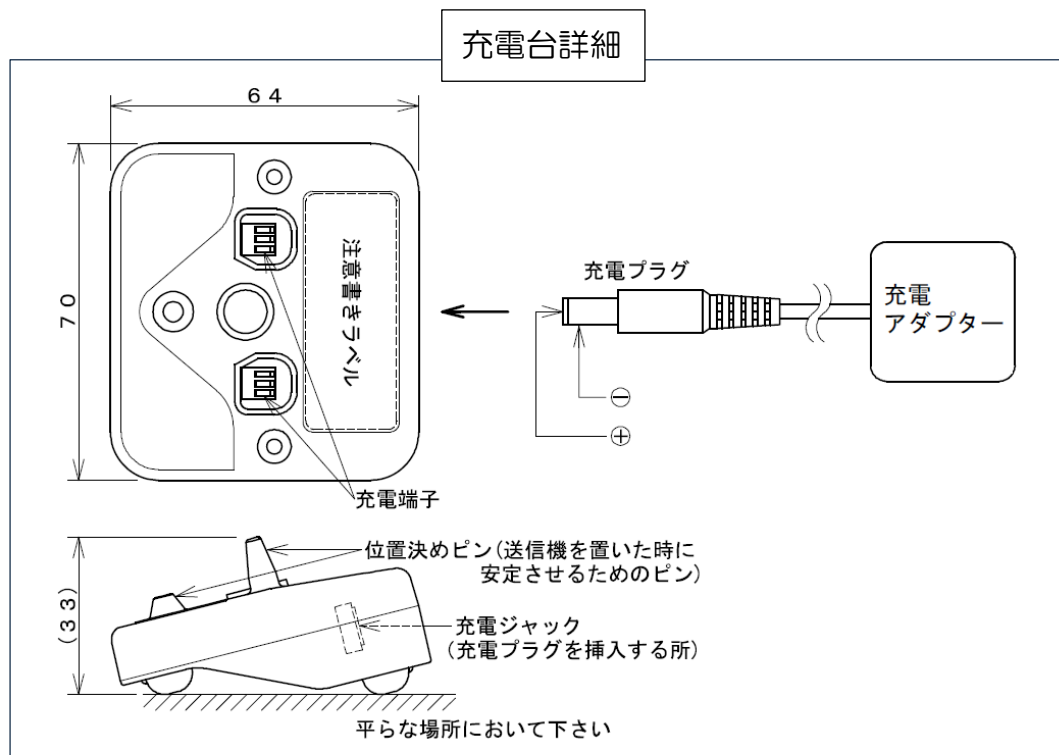
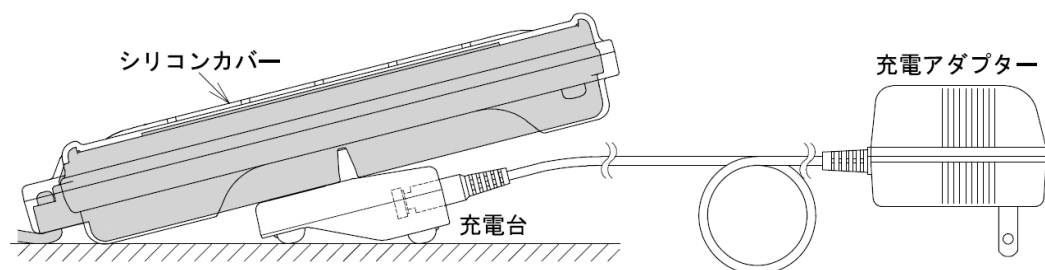
① 充電端子からの充電方法（付属の充電台での充電）

送信機側面中央のくぼみを充電台の位置決めピンに乗せて充電してください。

充電中は送信機の入ボタン「電源/充電」横の表示ランプが赤色に点灯します。

※シリコンカバーを付けたままで充電が可能です。

※送信機の電源が「ON」のままで、充電を開始すると自動的に電源は「OFF」
となり、充電中の使用はできません。



送信機の充電のしかた

② 充電ジャックからの充電方法（付属の充電アダプターでの充電）

L 型変換プラグに充電アダプターの充電プラグを接続し、

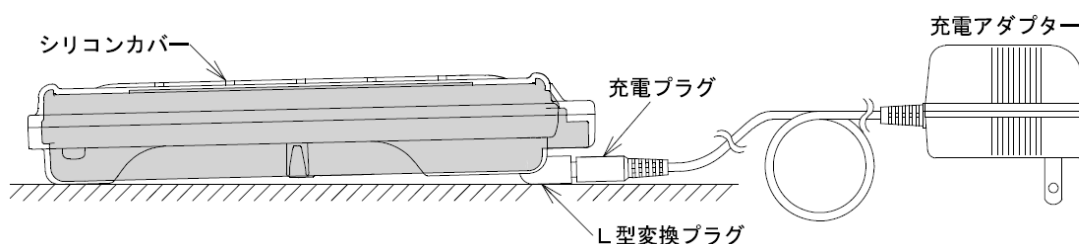
送信機の充電ジャックに接続してください。

充電中は送信機の入ボタン「電源/充電」横の表示ランプが赤色に点灯します。

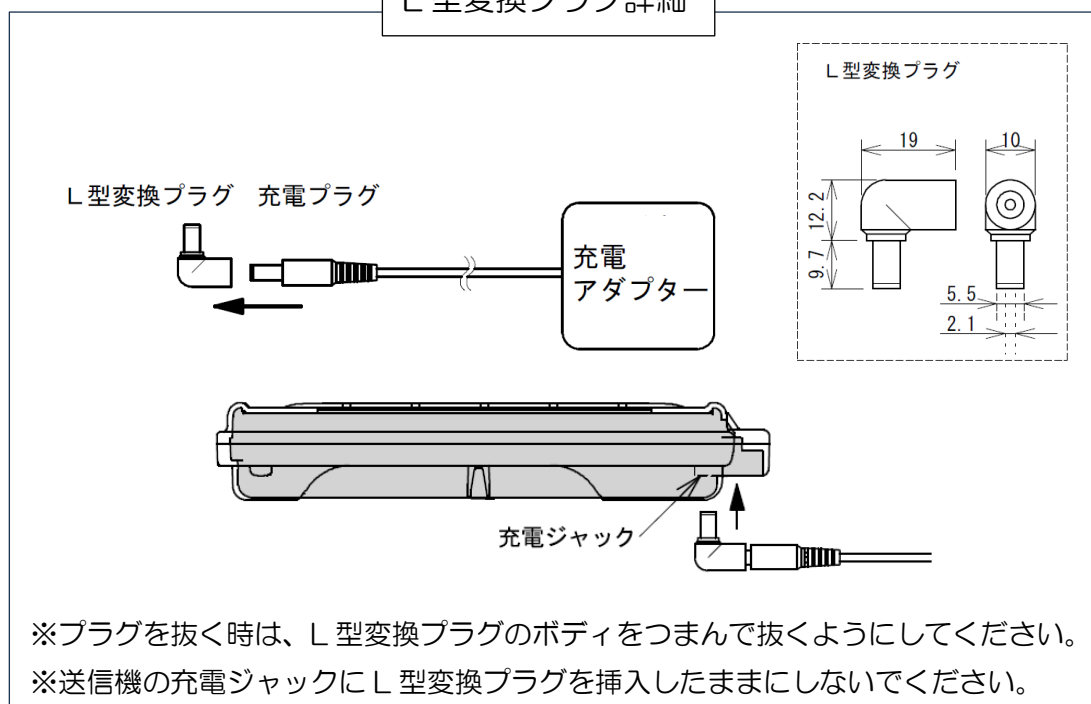
※L 型変換プラグ無しで充電アダプターの充電プラグ直接接続でも、充電は可能です。

※シリコンカバーを付けたままで充電が可能です。

※送信機の電源が「ON」のままで、充電を開始すると自動的に電源は「OFF」
となり、充電中の使用はできません。



L 型変換プラグ詳細



⚠注意

電池が消耗すると、入ボタンの「電源/充電」横の表示ランプが赤色に点灯します。

目安として、このランプが赤色に点灯してから 10 分程度は使用可能です。

さらに使用を続けると、ランプが消灯し送信機の電源が切れ、作動が停止します。

急な作動停止は危険ですので、送信機の充電状態はご注意ください。

MEMO

MEMO

ピカ コーポレーション

〒577-0013 大阪府東大阪市長田中4-4-10

ナビダイヤル 0570-064065 (土日・祝祭日を除く9:00~17:00まで)

■ホームページアドレス <https://www.pica-corp.jp>

※この取扱説明書の無断転用を禁じます。

P25. 05
762670001557